

2018年3月23日(金)

「にしこうカラハイ事業報告会」

名桜大学は平成25年度に大西区と協定を結び、地域連携事業「にしこうカラハイ事業」に関わり様々な活動に取り組んできました。この事業は名護市の助成を受けて取り組んでいる「大西区子育て支援事業」です。本学が支援している活動内容は「子育てママさんの育児支援」、「小・中・高校生への学習支援」を中心に行われています。さらに今年度は、地域の生涯学習を支援する「中国語出前講座」も加わり、内容豊富な「にしこうカラハイ事業」となっています。

3月17日(土)大西区公民館にて、「にしこうカラハイ事業報告会」が開催され30名ほどが参加しました。会場にはこれまでの活動写真がパネル展示され、子育て支援事業「ふれんどまみい」の様子や、「教育講演会」「学習支援の様子やお楽しみ会」等の報告がありました。また、中山登偉先生の「中国語出前講座」の受講生達による中国語での自己紹介が披露され、楽しく拝聴することができました。その他、子どもたちの「英語で遊ぼう」の発表が会場を和ませてくれました。大西区公民館の事業が乳幼児からおじいちゃんおばあちゃんまで参加する幅広い年齢層の活動が計画的に開催され活気付いている様子が伺えました。

本学が公民館活動への連携を通して積極的な地域貢献活動ができたことを実感することができた報告会でした。本学からは、大城凌子地域連携機構長、島田友子助産学専攻科長、中山登偉学生課国際交流係長、高安美智子学長補佐が参加しました。

学習支援に関わってくれた学生の感想とこれまでの活動の様子を写真でご紹介いたします。

<学習支援を担当した学生の感想>

- ・夏休みは子どもたちが沢山来てくれましたが、だんだん少なくなっていったのが残念でした。しかし、子どもたちと遊んだり勉強したりしたことは、自分にとって良い経験となりました。
- ・私は最初子供たちに勉強が教えられると思い、大西区学習支援に参加しました。実際は想像していたものとは異なり、子供たちの居場所づくりでした。勉強よりも遊びの時間が多い、学習支援なんて何だろうと思いました。しかし、日を重ねるごとに子供たちと仲良くなり、今日学校であった事や家族での事など話してくれる子供もいれば、中々心を開いてくれない子もいました。勉強や会話をしていく中で、自分が子供の頃もそうだったとか、今の子供たちはこんな風に考えているんだなと自分を振り返るいい経験になりました。地域の子供と大人、学校が交流を持つということは難しいことですが、いいことだと思います。是非続けてください。

「にしこうカラハイ」活動と報告会の様子



写真1 お楽しみ会の様子



写真2 中国語講座受講生の自己紹介



写真3 ふれんどまみいの活動

(文責：名桜大学学長補佐 高安美智子)